

■森村市左衛門 実業家。{森村組}創設し、{ノリタケ}{東洋陶器}{日本碍子}に至る一流窯業企業群のルーツを築いた。

もりむらいちざえもん

蚕社の獄・1839= 江戸京橋で、代々武具商の森村勇造(五代市左衛門)の長男に生まれる。母は松子。幼名は市太郎。

病弱に生まれるも、父が四代目の任侠で負債の処理に追われる状態のなか、

新憲法公布・1946= 7歳：手習師匠につき、

・・・1848= **9歳**：
家の手伝いに精を出し、

尊徳報徳論・1851=12歳：日本橋長谷川町呉服問屋で小僧見習奉公を始め、

万次郎帰国・1852=13歳：大名行列に遭遇して、差別体験に衝撃を受けたこともあって、

「日本外史」を読めるまでになるほど、学習にも努めていたが、

開国開港・1854=15歳：病弱のため耐えられなくなり、奉公先より帰る。異母弟の豊が誕生。

安政大地震・1855=16歳：大地震で父が新築したばかりの家屋と家財を消失、野宿するほどになって、生計を見ざるを得なくなり、

松下村塾・1856=17歳：日稼ぎ人夫となり夜店を出して、京橋に年賦契約四十兩の家屋を新築。

蕃書調所・1857=**18歳**：

家業の武具商に復帰すると、過去の父の誠実さで同情の注文を次々受け、

安政の大獄・1859=20歳：横浜開港を契機に、唐物商に転換。大きな利益を上げ、家屋の年賦契約金も完済。

桜田門外変・1860=21歳：この頃、中津藩士福沢諭吉と出会い、その思想の影響を受ける。

遣欧使節・1861=22歳：山下さく子と結婚。

薩長同盟・1866=**27歳**：

明治維新・1868=29歳：戊辰戦争に際し、板垣退助の依頼で軍需物資を調達し、官軍の勝利に貢献。

戊辰戦争終・1869=30歳：以降、大阪・土佐・北海道を拠点に内国通商を展開するも、全て失敗し借金。豊が慶應義塾に入塾。

学問のすすめ1872=33歳：政府の馬具製造所の経営を任されると、大きな利益を上げて借金を完済した上、

明治6年政変 1873=34歳：長男明六が誕生。続いて、次男開作(七代市左衛門)が誕生。銀座に羅紗屋{モリムラ・テーラー}を開店。この間、馬具製造所は官吏の賄賂要求をけて、政府に接収される。

初の民間工場1875=**36歳**：

三つの反乱・1876=37歳：豊が佐藤泰然の孫百太郎の募集した米国商法実習生の一員として新井領一郎らとともに渡米することになると、モリムラ・テーラー内に、豊と匿名組合{森村組}を創設。大倉孫兵衛が{森村組}に参加。豊はイーストマン商業学校に入学する一方、佐藤百太郎らと共同出資でニューヨークに{日の出商会}を開設。

大久保暗殺・1878=39歳：川崎正蔵の川崎造船所に援助したのを皮切りに、他企業の建て直しにも積極的に関与。

琉球処分・1879=40歳：この年、村井保固が福澤諭古の紹介で{森村組}に入社。

・・・1880=41歳：初めて渡米、陶磁器市場などを視察。帰国すると、仕入れに奔走し、

明治14年政変 1881=42歳：{日の出商会}を{モリムラ・ブラザース}と改称し、本格的にニューヨーク進出を果たす。アメリカに進出して

いた多くの商社が、次々撤退してゆくなか、積極的な営業活動を続け、

新体詩抄・1882=43歳：{モリムラ・ブラザース}の業務を、小売から卸売専門とする。日本銀行の創立に際し幹事に任命される。

岩倉具視没・1883=44歳：かねて瀬戸の陶磁器産地に要求していたコーヒー茶碗の試作が成功すると、

秩父事件・1884=**45歳**：本店拡張のため京橋区木挽町に移転。

内閣発足・1885=46歳：{モリムラ・ブラザース}の大口の顧客に対し、インポート・オーダー(約売注文)を開始し、大好評。

国民之友始・1887=48歳：輸出強化のため、神戸に事務所開設。

帝国憲法発布 1889=50歳：渡米し、豊と合流して渡仏。フランスではパリ万国博覧会を見学し、製陶工場を視察。

帝国議会始・1890=51歳：京都に{森村組}専属の絵付工場を建設して、洋風の製品を完成させると、注文が殺到するようになり、

大本教・・・1892=53歳：北里柴三郎が伝染病研究所を設立する際、先頭にたって寄附し実現させる。産地瀬戸との一体化を図るべく、{森村組}の名古屋店を開設。

郡司千島探検 1893=**54歳**：新井領一郎らと横浜生糸合名会社を設立し登記。この年、大倉孫兵衛がシカゴ万博視察のために渡米。

日清戦争始・1894=55歳：六代市左衛門を襲名。ニューヨークの百貨店主ヒギンサイダーから白色磁器の開発を勧められる。

日清戦争終・1895=56歳：富士紡績株式会社の設立発起人。

八幡製鉄始・1897=58歳：合名会社{森村銀行}を設立。

Bushidou・1899=60歳：{ファンシーチャイナの製造販売を始めるや注文殺到大盛況になるも、あてにしていた長男明六・異母弟豊が相次いで死去。

田中正造直訴 1901=62歳：{森村組}の専属絵付工場の名古屋への集約が完了。2人を顕彰して社会貢献事業を行うための任意団体{豊明会}を結成。この年、大倉孫兵衛が瀬戸に匿名組合組織の原料貯蔵所を設立。

教科書疑獄 1902=**63歳**：矢野恒太の第一生命保険会社の相談役となる。日本女子大学校に豊明会を通じて三万円寄付。

日比谷公園 1903=64歳：この年、大倉孫兵衛・和親らがオーストリアのカールスバットのヴィクトリア工場を視察。

日露戦争始・1904=65歳：安部磯雄率いる早稲田野球チームの渡米にも資金支援。ようやく白色磁器の製造に目途が立ち、{日本陶器}合名会社を創立するも、営業不振のなか、

日露戦争終・1905=66歳：芝浦製作所岸敬二郎から特別高圧ガイシの製造を勧められ、

韓国反日暴動 1907=68歳：製造開始すると、大きな利益を得るようになる。

アヲキ創刊・1908=69歳：{日本陶器}と{森村組}の分業体制が始まる。

伊藤博文暗殺 1909=70歳：{森村組}の組合契約書を作成。{森村組}の目的・方針などを示す「我社ノ精神」を定めて、一線を退くと、

韓国併合・1910=71歳：自宅の敷地内に幼稚園を設立、続いて小学校を設立。

大逆事件判決 1911=**72歳**：アメリカの税関に{森村組}が扱う陶磁器を差押さえられ、インボイス価格の値上げなどを要求される。

明治天皇没・1912=73歳：この年、大倉和親が欧米への視察旅行に出発。江副孫衛門らと和親に合流し、ヴィクトリア工場を視察。

この間、財界においては、渋沢栄一と並ぶ精神的支柱となり、

大正政変・1913=74歳：キリスト教に入信。

第一次大戦始 1914=75歳：{豊明会}が財団法人{森村豊明会}となる。ついに{日本陶器}がディナーセットを完成。

21ヶ条要求・1915=76歳：男爵。受注始めるや、第一次大戦によるドイツ産地の衰退もあって、輸出急増し一気に主力製品となる。

全国各学校や教会を回って講演。

ロシア革命 1917=78歳：受洗。この利益をもとに、一業一社主義に基づき、衛生陶器でがける{東洋陶器}株式会社の設立、

本格政党内閣 1918=79歳：統括する持株会社として株式会社{森村組}を設立。{日本陶器}商品のノリタケブランド化、

ペルシヤ条約 1919=80歳：ガイシ部門を独立させた{日本碍子}株式会社の設立、一大窯業コンツェルン形成を見ながら、没した。

評伝日本の経済思想「森村市左衛門」、